

令和6年10月24日 第2回総合教育会議

～中学生平和学習派遣事業（報告）



今までの取組み

- 1 参加生徒の募集、選考
- 2 事業説明会・事前学習会（令和6年7月20日）
- 3 広島での学習（令和6年8月18日～20日）

参加生徒の募集・選考

- 1 4月の校長会で事業説明（各校1人の募集）
- 2 4月22日～募集チラシを配付（生徒全員）、募集開始
（応募者は作文提出：テーマ「広島で何を学びたいか、学んだことを一市民としてどう伝えていくか」）
- 3 5月17日募集締め切り、選考開始
- 4 6月上旬選考結果通知送付
- 5 応募状況 全校で20人

（参考：年度ごとの応募状況 H30/31人、H31/28人、
R2及びR3は中止、R4/19人、R5/27人）

* R5年度から2泊3日に行程を延長

事業説明会



事業説明（保護者の参加）



昨年度参加の生徒さんに話していただきました

令和6年7月20日（土）（柴崎学習館）

事前学習会 (学ぼうヒロシマへの参加)



ピースボランティア：榎原さんのお話



立川市原爆被害者の会：佐藤さんのお話

5

令和6年7月20日 (土) (柴崎学習館)

平和学習への参加

令和6年8月18日(日)~20日(火)

同行者 市長、教育委員会事務局職員等 計6名

出発式 令和6年8月18日 グランデュオ前

7



東京駅にて



平和記念公園到着

9

ガイド（原爆を語り継ぐ会・中川さん）による説明



爆心地 (公園外)



原爆ドームを背に



平和の鐘



原爆供養塔



原爆の子の像



平和の灯



原爆死没者追悼平和祈念館



原爆死没者慰靈碑



献花の様子



広島平和記念資料館



広島平和記念資料館

展示：被爆した方の遺品



広島平和記念資料館

展示物：被爆の惨状を示す絵



市長を囲んで意見交換



2日目 本川小学校平和資料館 慰霊碑の前で



本川小学校平和資料館

展示物の説明



本川小学校平和資料館

被爆当時の広島市の模型の前で



袋町小学校平和資料館

伝言を保存する活動をビデオで説明しています



壁には「伝言」が残されていました



資料館の方に当時の様子を説明していただきました



フェリーに乗って宮島へ



巖島神社の大鳥居



2日目の夜

2日間の感想を話し合いました



3日目 被爆体験講話

田中聡司（たなかさとし）さんのお話し





みんなでお好み焼きを食べました



この後、生徒は事後学習、発表の準備を経て、令和7年1月25日開催予定の立川教育フォーラムにて発表を行う予定です。

このほか、在籍校にて生徒への発表などに取り組みます。

生徒の感想（抜粋）

- ▶ 三日間を通して原爆のこと、それに対する人々の思い、核時代のこと、たくさんのことを学びました。原爆は実際に起きたこと、昔話じゃないという言葉が心に残っています。人の強さや温かさを感じられて、この事業に参加して本当に良かったと思います。
- ▶ この派遣事業では、見るだけでは分からない原爆の被害を、ガイドさんや被爆者の方に話してもらったことで、より深くヒロシマと原爆について考えられました。
- ▶ 原子爆弾について、私は多くのことを知り悲しくなりました。たった一つの爆弾で、大きな苦しみを背負っている人が大勢出てしまっているはずでは、世界唯一の被爆国の国民として、できることは何でしょうか。平和派遣事業を通じ、悲しみや原子爆弾を伝える人々の一員となり、平和への一歩を踏み出したいと思いました。